

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp
 川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
 三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661
 吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
 田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
 森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
 田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570

衆参代表質問 展望示したのは どの党か

菅直人首相の施政方針演説に
 対する衆参両院の代表質問が2
 8日、終わりました。経済危機
 TPP（環太平洋連携協定）、消
 費税増税と社会保障、沖縄米軍
 基地―など内政・外交にわたる
 閉（へい）塞（そく）感打聞の
 展望を示したのはどの党か―。

消費税

共産党 増税に頼らぬ道筋示す

民・自・公・み 増税へ
 “翼賛”体制

菅政権は「税と社会保障の一
 体改革」の名で消費税増税を打
 ち出しています。

消費税増税に前のめりになっ
 ている菅政権にきつぱりと対峙
 （たいじ）して、増税反対と、消
 費税に頼らずに社会保障を充実
 させる道筋を打ち出しているの
 は日本共産党だけでした。

志位和夫委員長は27日の代
 表質問で「社会保障を切り捨て、
 他方で大企業の減税をばらまき
 ながら、消費税増税など論外と
 いうほかない」と厳しく批判。
 「いま、とりくむべきは、社会保
 障の拡充に転換することだ」と
 訴えました。

市田忠義書記局長も「財源と
 いうなら、ゆきすぎた大企業、
 大資産家減税をやめ、税金は負
 担能力に応じて払う、思いやり
 予算」など軍事費を削る、税金
 の山分けである政党助成金を廃
 止する。こういう方向こそ追求
 すべきだ」と提案しました。
 自民、公明両党は、菅政権に
 対し消費税増税をあり、競い
 合う姿勢を見せました。
 自民党の谷垣禎一総裁は消費

税増税への「本気度」を首
 相に問い、「（増税法案は）
 今秋の臨時国会に提出され
 るのが当然だ」（26日、衆
 院本会議）とありました。
 その上で、解散を条件に、
 消費税増税にむけた与野党
 協議に参加する意思を表明しました。

公明党の井上義久幹事長は「公明党は、
 消費税を含めた税制の『抜本改革』は必
 要との立場だ」（27日、衆院本会議）と
 明言。「与野党の協議機関を立ち上げよ
 」と迫りました。

みんなの党の渡辺喜美代表は、「消費税
 を全額地方の財源にすれば、補助金、交
 付税はその分少なくできる」（同）と主張
 しました。
 菅首相は、消費税増税を盛り込んだ自
 民党提案の「財政健全化責任法案」を評
 価。公明党の「新しい福祉社会ビジョン」
 を「共感する」と持ち上げました。
 消費税増税で共鳴し合う「翼賛」状況
 ともいべき事態です。

TPP

共産党 自給率向上と両立せず
 民主「開国」一辺倒 自・み
 本音隠し

菅首相が「平成の開国」と称して参加
 を狙う環太平洋連携協定（TPP）。「開
 国」推進の質問や推進の本音を隠した質
 問が続くなか、日本共産党はTPPの中
 身を批判し、正面から反対を表明しまし
 た。

志位委員長は、TPP参加は実質的に
 “米国との自由貿易協定（FTA）”とな
 り、農業だけでなく、経済主権を米国に
 ゆだねることになると指摘。食料自給率
 は政府試算でも13%に急落し、政府の
 50%目標との両立は絶対不可能であり、
 「農林水産業、地域経済、国土と環境を破
 壊し、国民への食料の安定供給も破壊す
 る『亡国の道』だ」と批判しました。
 菅首相は、自給率向上と「両立」不可
 能との質問に、まともに答えられません
 でした。

TPPには「自民党も前向きに考える
 のが基本だ」といつていた谷垣禎一総裁
 ですが、一言も触れずじまい（26日、
 衆院本会議）。加盟反対の世論の高まりの
 なかで、いつせい地方選を前に「TPP
 隠し」に終始しました。

公明党の井上義久幹事長も27日、農
 林漁業者の「懸念と批判」に触れたもの
 の、破綻した「大規模化」をはじめ、自
 公政権以来の農業「構造改革」を主張し
 ました。

「みんなの党は、開国大賛成」（渡辺喜
 美代表）、「国政の政党では唯一、TPP
 参加を明言している」
 （江田憲司幹事長）と

“自慢”していたみんな
 の党も、渡辺代表が一
 切触れずじまい（27
 日）。川田龍平政調会長
 代理は、交渉の「情報
 公開」を求めただけで
 した（28日）。



日米同盟
 共産党「戦争力」より「外交力」
 民主 軍事偏重 自民 軍拡あお
 る

昨年5月の「日米合意」に基づき沖縄・
 名護市辺野古で米軍の新基地建設を推進
 し、新たな「防衛計画の大綱」が定めた
 「動的防衛力」の名で自衛隊の海外展開を
 狙う菅政権。

日本共産党の志位委員長は、「『県内移
 設反対』『普天間基地の閉鎖・撤去』とい
 う沖縄県民の総意はもはや揺らぐことは
 ない」と述べ、「日米合意」白紙撤回と米
 軍普天間基地（宜野湾市）無条件返還を
 迫りました。

志位氏はまた、尖閣諸島、朝鮮半島、
 千島列島―どの紛争問題でも、国際的道
 理に立った外交交渉をせず、自衛隊の変
 質を狙う新「防衛大綱」を策定し軍備増
 強を進めようとしていると菅内閣を批判。
 「対米従属、軍事偏重、外交不在こそ日本
 外交の姿」だと指摘しました。

また、「必要なのは軍事同盟という『戦
 争力』でなく、国際的道理にたつた『外
 交力』だ」と主張しました。これに対し
 民主議員は「戦争力」でいいのだ」とヤ
 ジを飛ばすなど、自民党と変わらない姿
 をさらす場面もありました。

普天間問題について菅首相は、「『日米
 合意』をふまえ最優先で取り組む」と強
 調。日米同盟が「日本の安全保障と外交
 の基軸」だとして「能動的に取り組む外
 交・安全保障政策の推進が不可欠だ」と
 開き直りました。

自民党は、軍拡路線をさらにあおり、
 より右傾化を迫る立場を示しました。小
 池百合子総務会長は26日の質問で、「動
 的防衛力」は「自民党時代にわれわれが
 方向性を打ち出したもの」と指摘し、防
 衛関係予算の増額を要求。スパイ防止法
 や「軍法会議」の必要性にも言及し「情
 報保全体制の強化」も求めました。中曾
 根弘文参院議員は「憲法改正に向け議論
 を行っていくべきだ」（27日）と迫りま
 した。

公明党の山口那津男代表は、「日本外交
 の基軸は日米関係だ」（28日）と菅首相
 と同じ認識を示しました。

共産党 暮らしの問題 正面から
 取り上げ

庶民の暮らしは所得の低迷にあえいで
 います。ところが民主、自民の「二大政
 党」とも代表質問で、暮らしの問題につ
 いてはまともに取り上げませんでした。

こつしたなか、日本共産党の志位和夫
 委員長と市田忠義書記局長は、雇用情勢
 や暮らしの問題、中小企業の営業の問題
 を正面からとりあげ、具体的
 な打開策も示しました。

志位氏は、労働者派遣法の
 抜本改正によって、低賃金で
 不安定な非正規社員を正社員
 にすることなど、総合的な賃上げ政策を
 提案。市田氏は、中小企業の経営を守る
 ためのルールの確立や最低賃金引き上げ
 のための財政支援を求めました。

しんぶん
 赤旗

日刊 月2,900円
 日曜版 月800円

実現しました！

一年四力月前、私が議

の方は大変喜んでおられ
ました。

員になった翌月の十月、
近隣の方がたにご要望を
きかせて頂きました。

その一つのカーブミラー

もう一つは津島神社の

は、鍵の総代さんのお力
添えがあり、翌月設置し
て頂きました。もう一つ
は、幅が広く深いどぶ川
に、小さい子どもが自転
車ごと落ちたことが数回

民の方がたの熱意のため
ものと思います。

あり、危険なのでガード
レールをつけてほしいと
いうものでした。これは
総代さんをはじめ、建設

これからの町民の声と、
自治体のパイプ役になり

が、中々実現できません
でした。ところが今月

田原本町議会議員

(一月)設置され、地域

森 良子



アジアカップ

先月、サッカーのアジ

決勝のカタール戦で、相
手フオアードとの競り合

アカップで日本代表が優
勝しました。リーグの
ゲームと違い、持てるす
べての力と技術を出して
懸命に奮闘する選手の姿
に感銘を覚ええました。そ
ましました。

の中で、香川選手が骨折

ところが、決勝戦では、

をしたことは残根ですが、
彼が自らの限界まで動き
回っていたことの証です。
今回のアジアカップで
「吉田麻也選手」に注目
しました。初戦のヨルダ
ン戦で、終了

安易に手を使うことなく、
必死に相手とボールの間
に入り、タッチライン沿
いで、倒れながら、守備
をしていました。「二度
とチームに迷惑をかけな
い」その意識が伝わって
きました。フェアプレー

間近に同点となる得点
をヘディングで挙げた選
手です。同じ苗字という
ことで親近感を覚えたこ
ともありますが、このア
ジアカップで成長したよ
うに感じたからです。準々

田原本町議会議員

吉田 容上



防災訓練

30日、三宅町と各自

島重光氏の講演が約1時
間ありました。

治会の自主防災会の合同
訓練がおこなわれ、15
0名余の住民さんが参加
されました。

当日は、今年一番の寒
い日で、約10メートル
ぐらいの西風が吹き荒れ
る中私12時45分に
東屏風体育館に集合し、
役場まで住民さんと徒歩
で参加しました。

役場前の駐車場では、

事前に行っていくことが

起震車体験やAED講習、
防災倉庫物品の陳列、炊
き出し(豚汁)訓練が行
われ、文化ホールでは町
長のあいさつの後、「地
域の『災害に対する心構
え』」「自助」をどう
広め「共助の関係」をど
う準備するのか」と題し
て日本生活協同組合連合

の職員も罹災者だから体
制を組むのに2・3日は
かかる、その間の食事な
ど自治会や隣近所で救出
など助け合うことが大事

会 中央地連大規模災害
対策協議会の世話人 水

三宅町議会議員

池田 年夫



開発構想

「町の発展には新たな
宅地開発等が必要」と、
農家の皆さんから調整区
域見直しを求める声が町
政アンケートで聞かれま
す。

現状の家族経営の小規
模農家での生計の見通し
が立たなければ、農業の
展望なんか絶対出ません
から、「それやったら線
引き見直してよ」との事
ではないかと私は感じて
います。

これは、利害によって、
様々な思考が巡る事と思
います。私は、線引き
見直しは程度にもよりま
すが必要と考えています。
同時に、農家の経営が成
り立つような、少なくと
もそうした方向に向かう
ような、農政の転換も行
政として力を注がねばな
らない問題と心得ていま
す。

とにかく、地球上で農
作物を作れる地域は極一

握りで、その一つがわが
国でして、世界の食料事
情からしますと、せつか
く食料が作れる地域に住
んでいるんですから、こ
れは絶対に切ったらあき
ません。同様に、住民人
口の還流無しには地域の
バランスは保てませんか
ら、町内に五〇〇戸前後
の住宅地があと二ヶ所程
度は必要で、その開発が
三〇年、四〇年の間隔で
実施されるのが望ましい
と思っています。この点
では、今がその時期でし
て、将来の町づくりの点
で、ここらへんの議論も
大いに煮詰めて参りたい
と思っています。

とは言いまして、消
費購買力が果たしてつ
てくるのか
どうか、こ
れも問われ
ている大問
題でしょう
ね。

川西町議会議員

